

第164号



# お茶の水女子大学学报



平成 7 年 5 月 1 日  
お茶の水女子大学庶務課

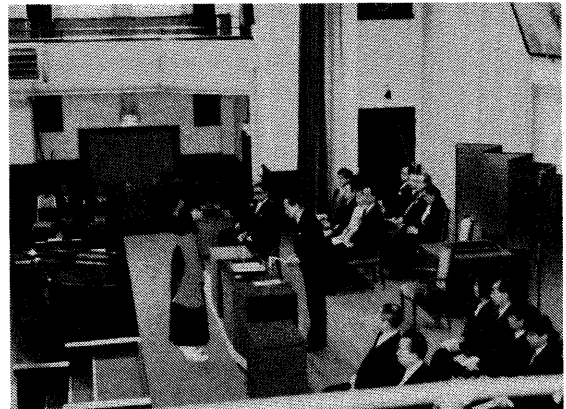
## 目次

- ◇卒業式・学位記授与式学長告辞 … 1
- ◇入学式学長告辞 … 3
- ◇関係法令 … 5
- ◇学内規則 … 6
  - お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則 … 6
  - お茶の水女子大学学位規則の一部を改正する規則 … 8
  - お茶の水女子大学事務組織規程の一部を改正する規程 … 8
  - お茶の水女子大学事務組織細則の一部を改正する細則 … 8
- ◇各種委員会委員 … 10
- ◇学科主任 … 23
- ◇新任部局長紹介 … 24
- ◇学 事 … 25
  - 学位授与 … 25
  - 卒業式及び学位授与式について … 26
  - 入学式について … 26
  - 大学間協定について … 26
- ◇諸 報 … 32

- 永年勤続者表彰式について … 32
- 平成 7 年春の叙勲について … 32
- 海外渡航 … 33
- レクリエーション行事 … 34
- 健康診断 … 34

- ◇日 誌 … 35

## 卒業式・学位記授与式学長告辞



(卒業式・平成 7 年 3 月 23 日)

卒業生諸君おめでとう。御父兄並びに保護者の皆様、おめでとうございます。唯今、卒業証書並びに学位記を授与致しましたのは、学部550名、大学院修士課程170名、博士課程7名でございます。その中に、留学生は、学部5名、大学院修士課程20名、博士課程2名が含まれております。

諸君は、本日、心を新たにして、様々な道へ出立するわけです。進む道は、大学院等でさらに学問を

深めること、社会へ出て新しい職につかれることなど様々であると思いますが、前途に明るい希望をもって進まれることを期待致します。しかし、残念なことに、これから諸君が歩まれる道は、決して平坦とはいえないようです。そのことは、今年の子学生生の就職問題にあらわれています。わが国の社会は、まだ男女平等とはいえないようです。不況になれば、そのしわ寄せが女子にくるのが実情です。このような風潮を打破しなければならないのは当然であり、私共も今後もできる丈努力を重ねるつもりですが、まず大切なのは諸君自身のこれからの生き方であると思います。

本年の就職状況の中で、不満足ながら本学では希望する学生のほとんどが職につくことができました。それは、ひとえに諸君の先輩の方々が多年にわたって努力され、本学の価値を高めたためです。終戦後まで、大学は女子に開かれていなかったといっても過言ではありません。女子の大学への入学を許していたのは、二、三の国立大学とごく僅かの私立大学のみでした。そのような状況の中で、本学の前身である東京女子高等師範学校等の卒業生は、そのごく狭い大学の門をたたき、あるいは外国の大学へ留学し、また独学で学問の道を歩まれるなど、困難な道を進んで、輝かしい成果をあげてこられました。わが国の最初の女医は本学の最も古い前身である東京女子師範学校の卒業生ですし、わが国初の女性の博士も、後に本学の教授、名誉教授となられた保井コノ先生であります。それら先達の方々の歩まれました道は、私共が到底想像もできないほど苦難に満ちたものであったと考えられます。しかし、その方々の御努力が今日の本学の輝かしい伝統のもとになっています。

本年で、本学は創立120年になります。この120年間に先輩がなされてきた努力を、今諸君は改めて心にとどめていただきたいです。そして、これから進まれる様々な場面で、その伝統に恥じない努力を続けることが、単に後輩のためだけでなく、わが国における女性の地位の向上に資すると信じております。今後、何事にも勇気をもって、特に「静かな勇氣」一時的な情熱にとどまらない、永続する潜められた勇氣でのぞまれることを期待致します。

次に、これからの女性、特に本学の卒業生に期待したいのは、視野の広さです。本学の卒業生は、狭

いながらも深く一つの道を探究する点では、他大学の卒業生に勝るとも劣ることはないと自負しております。しかし、視野の広さという点では、問題があるように思われます。今、私共が当面している課題である人口・環境・食糧・エネルギーなどの問題は、すべて広い視野がないと解決できません。

たとえば、人口ですが、現在世界人口は55億を超えております。地球がどのくらいの間人を養えるかは人により意見が一定しませんが、文明生活を維持していくには、最大110~120億と考える人が多いです。つまり、現在の2倍が限度のようです。過去人口が倍増するのに、50年もかかっていませんから、何とかして人口抑制をしない限り、人類の生活は困難になると考えられます。また、食糧やエネルギーなどの問題も人口が基本となります。

ところで、現在人口が増加しつつあるのは開発途上国で、いわゆる第三世界の人々が55億のうち40億を占めています。一方、先進国は人口は減少気味です。では、途上国の人口のみを抑えれば良いかといえますと、問題はそう簡単ではありません。先進国は、食糧やエネルギーを大量に消費しています。石油を例にしても、わが国の1人当りの消費量を基準とすれば、世界で9億人分しかないといわれます。したがって、人口問題は、単に途上国の問題ではなく、先進国の責任も大きいといえます。また、急激な人口抑制は、労働人口の急減による福祉の困難さを伴います。さらに、人口政策には、宗教・価値感など多様な問題が関係します。

このように、狭い一方的な見方で、人口問題が解決できないことは明らかです。このようなことは、多くの課題について当てはまります。したがって、諸君は今後一層広い視野を培う努力が必要であると思われま

今後、文系の諸君は、科学技術の理解に、理系の諸君は人文科学の理解に眼を向けることをのぞみます。そして、「人間にとって何が幸せか」について、改めて問いかけることをおすすめ致します。

本学の卒業生が、広い視野で、地道な努力を重ねることが、先輩の築かれたすぐれた伝統の上に、さらに新しさを加えることになると思います。そのことを心から期待して、告辞と致します。

平成7年3月23日

太田次郎

## 入学式学長告辞



(入学式・平成7年4月10日)

本年は、桜の満開のもとで入学式を迎えることができ、心から嬉ばしく思います。唯今入学を許可致しましたのは、学部578名、大学院修士課程219名、博士課程82名の計879名です。本年はこの講堂に初めて補助椅子が必要になりました。改めて、新入生諸君入学おめでとう。御父兄並びに保護者の皆様おめでとうございます。

新入生諸君は、期待をもって、本日を迎えられたと思います。そこで、まず「大学とは何をすることか」を考えられると思います。「大学は、教育・研究の場である」といえばそれまでですが、学生にとって何をすることを考える必要があります。私は、一言でいえば「物の見方・考え方を身につける場である」と考えています。知識の習得が目標ではなく、独自の視野をもつ考え方を養うことが大切と思います。

独自の見方という点で、一つの例をあげてみます。アメリカの1人の学者が、キリンを見て、「キリンは高血圧であろう」と考え、首に血圧計を巻いて実際に高血圧であることを確かめました。いわれてみれば、あの長い首の上に脳があるのですから、心臓が余程強い力で血流を送らないと、脳に血が十分流れていかないわけです。しかし、ふつうの人がキリンを見て、そのようなことは考えないと思います。実は、その学者は、アメリカの心臓学会の会長でした。つまり、彼は常に心臓のことを心にとめていましたから、キリンを見て気がついたわけです。

こんな例をあげたのは、独自の見方や考え方を身

につけるには、それぞれの専門について学ぶ必要があること、常にそれを頭において物を見ること、そしてもう一つ素朴な問いかけをすることが大切と思うからです。

先端の知識を受けとるのではなく、それをもとにして、自分の頭で物を考え、物を見ることが大切であり、そのことを大学生活で身につけて欲しいと思います。

もう一つすすめたいのは、無駄の効用ともいえることです。「何でも見てやろう」という知的好奇心をもとにして、旺盛に学ぶことが大切です。読書にしても、ある程度まで乱読することによって、独自の読書力が身につきます。大学は知の宝庫であり、今の情報時代では資料も入手し易くなりました。そこで、少しぐらいの無駄をおそれず、たくましく何事も学ぶ精神が必要と思います。

次に、本学は本年で120周年になります。この秋には記念式典も予定致しております。この長い歴史を背負いながら、今改めて問われているのは、「女子大学の存在意義」です。3月末に、インドネシア放送局の人が、「どうして国立の女子大学があるのか」と取材にまいりました。このように、世間も女子大学のあり方に関心をもっています。その点について、私共は次のように考えています。

わが国の現状は、真の男女平等といえません。このことは、今年の子学生就職問題にもあらわれています。また、共学大学でも、必ずしもすべての面で男女平等とはいえないこともあります。そこで、女子大学の静かな環境の中で、自立心に富んだ学習を行う必要性はあると考えています。また、出産・育児など女子のライフサイクルを考慮した長い眼で見た女子の教育も必要です。特に、女子の指導者を養成する過程で、これらの点に十分配慮した教育・研修を行っていくのは、女子大学であると思います。近年、そのような視点で米国でも優秀な女子大学が見直されています。

本学は、自己点検・自己評価を行い、カリキュラム等を見直して、新しい女子大学のあり方を探り、改革を行っています。特に、「小さな大学を大きく使おう」をモットーにして、学部・学科の枠にとらわれない教育・研究の場をつくり上げることを目指しています。諸君も、常に「女子大学の在り方」を念頭において欲しいです。

しかし、大学は閉ざされてはいけないと思います。そこで、他大学との連携も積極的に進めつつあります。すでに、東京大学・東京工業大学・奈良女子大学との間で、大学院の単位互換協定を結びました。また、国際的には、オックスフォード大学クイーンズコレッジ、ケンブリッジ大学ガートンコレッジ、オーストラリアのモナシュ大学との間で、学生交流協定を結んでおります。

こうして、内に充実した女子大学と、外との研究・教育面の交流という道を、本学は歩んでいます。今後共、この方向で一層の充実をはかりたいと考えております。

女子大学の存在意義は、理念だけではなく、実践が大切であると思います。諸君とわれわれ教職員が手を組んで、輝かしい120年の伝統の上に、さらに新しい一歩を築いていきたいと思います。

諸君の明るい前途と、より充実した大学生活を期待して、告辞と致します。

平成7年4月10日

太田次郎

## 関係法令

### 【法律】

- 国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律  
(法律第22号、3月8日官報)
- 旅券法の一部を改正する法律(法律第23号、3月8日官報)
- 国立学校設置法の一部を改正する法律(法律第32号、3月23日官報)
- 国家公務員等共済組合法の一部を改正する法律  
(法律第51号、3月31日官報)

### 【政令】

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令  
(政令第107号、3月29日官報)
- 国家公務員等共済組合法施行令及び国家公務員等共済組合法等の一部を改正する法律の施行に伴う経過措置に関する政令の一部を改正する政令(政令第115号、3月29日官報)
- 平成7年度における国家公務員等共済組合法の年金の額の改定に関する政令(政令第116号、3月29日官報)
- 国家公務員等共済組法施行令及び国家公務員及び公共企業体職員に係る共済組合制度の統合等を図るための国家公務員共済組合法等の一部を改正する法律附則第35条の規定等に基づき行う負担金の額の調整等に関する政令の一部を改正する政令  
(政令第146号、3月31日官報)
- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令(政令第152号、3月31日官報)

### 【省令】

- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部省令第4号、3月28日官報)
- 教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令  
(文部省令第5号、3月28日官報)
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令等の一部を改正する省令(文部省令第6号、3月29日官報)
- 大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令(文部省令第7号、3月29日官報)

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令  
(文部省令第8号、3月29日官報)
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(文部省令第9号、3月29日官報)
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部省令第10号、3月29日官報)
- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(文部省令第11号、3月31日官報)

### 【規則】

- 人事院規則15—16(職員の勤務時間、休日及び休暇)の一部を改正する人事院規則(人事院規則15—14—2、3月28日官報)
- 人事院規則9—2(俸給表の適用範囲)の一部を改正する人事院規則(人事院規則9—2—22、3月31日官報)
- 人事院規則9—42(指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額)の一部を改正する人事院規則(人事院規則9—42—8、3月31日官報)
- 人事院規則9—57(教職調整額の支給方法等)の一部を改正する人事院規則(人事院規則9—57—12、3月31日官報)
- 人事院規則9—82(俸給の半減)の一部を改正する人事院規則(人事院規則9—82—1、3月31日官報)
- 人事院規則10—4(職員の保健及び安全保持)の一部を改正する人事院規則(人事院規則10—4—3、3月31日官報)

### 【告示】

- 学校法人の寄附行為及び寄附行為変更の許可に関する審査基準の一部を改正する件(文部省告示第42号、3月29日官報)

## 学内規則

### ○平成7年お茶の水女子大学規則第7号

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則を次のとおり定める。

平成7年3月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学大学院規則（昭和51年6月23日全改）を次のように改正する。

別表第1（第6条関係）中理学研究科の項を次のように改める。

理 学 研 究 科	数 学 専 攻	10人	20人
	物 理 学 専 攻	12人	24人
	化 学 専 攻	12人	24人
	生 物 学 専 攻	14人	28人
	情 報 科 学 専 攻	12人	24人
	計	60人	120人

同表中人間文化研究科の項を次のように改める。

人 間 文 化 研 究 科	比 較 文 化 学 専 攻	19人	57人
	人 間 発 達 学 専 攻	13人	39人
	人 間 環 境 学 専 攻	9人	27人
	計	41人	123人

別表第4（第9条の3関係）中家庭経営学専攻の表を次のように改める。

#### 家庭経営学専攻

授 業 科 目	単位数		単位数
		家 庭 法 律 学 特 論	4
		家 族 思 想 史 特 論	4
家 政 学 原 論 特 論 I	4	比 較 家 族 研 究 特 論	4
家 政 学 原 論 特 論 II	4	家 庭 管 理 学 特 論 I	2
生 活 史 特 論	2	家 庭 管 理 学 特 論 II	2
生 活 行 動 論 特 論	4	人 間 生 体 学 特 論	2
人 間 行 動 学 特 論 I	2	居 住 学 特 論	2
人 間 行 動 学 特 論 II	2	女 性 学 特 論 I	4
生 活 経 済 学 特 論	4	家 庭 科 教 育 特 論 I	2
労 働 経 済 学 特 論	4	家 庭 科 教 育 特 論 II	2
消 費 者 経 済 学 特 論	4	生 活 社 会 科 学 特 論 I	2
消 費 者 行 動 論	4	生 活 社 会 科 学 特 論 II	2
家 族 社 会 学 特 論	4	家 庭 経 営 学 特 別 研 究	10
家 族 関 係 学 特 論	4		

別表第5（第9条の3関係）比較文化学専攻の表中科学文化論の項の次に次のように加える。

異 文 化 交 流 論	異文化環境論	4
	異文化環境論演習	4
	国際日本学	4
	国際日本学演習	4
	日本語教育方法論	4
	日本語教育方法論演習	4
	日本語生活論	4
	日本語生活論演習	4
	第二言語習得論	4
	第二言語習得論演習	4
	文化交流発達論	4
	文化交流発達論演習	4
	民族関係論	4
	民族関係論演習	4
	アジア文化論	4
	アジア文化論演習	4
	異文化教育論	4
異文化教育論演習	4	

#### 附 則

- この規則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、別表第4中家庭経営学専攻の表の改正規定は、平成7年度入学者から適用する。
- 理学研究科の収容定員は、改正後の第6条の規定にかかわらず、平成8年3月31日までの間は、次表のとおりとする。

研究科	専 攻	収容定員
理 学 研 究 科	数 学 専 攻	20人
	物 理 学 専 攻	22人
	化 学 専 攻	22人
	生 物 学 専 攻	24人
	情 報 科 学 専 攻	24人
	計	112人

- 人間文化研究科の収容定員は、改正後の第6条の規定にかかわらず、平成7年度から平成8年度までは、次表のとおりとする。

研究科	専 攻	平成7年度	平成8年度
人 間 文 化 研 究 科	比 較 文 化 学 専 攻	51人	54人
	人 間 発 達 学 専 攻	39人	39人
	人 間 環 境 学 専 攻	27人	27人
	計	117人	120人

○平成7年お茶の水女子大学規則第8号

お茶の水女子大学学位規則の一部を改正する規則を次のとおり定める。

平成7年3月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学学位規則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学学位規則（昭和53年5月24日全改）を次のように改正する。

第17条第2項中「2種類」を「1種類以上」に改め、ただし書を削る。

附 則

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

○平成7年お茶の水女子大学規則第9号

お茶の水女子大学事務組織規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成7年3月30日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学事務組織規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学事務組織規程（平成2年3月28日制定）の一部を次のように改正する。

第14条の2を第14条の3とし、第14条の次に次の一条を加える。

第14条の2 学生課に専門員（就職指導担当）を置くことができる。

- 2 専門員（就職指導担当）は、専門的見地から課長を補佐し、学生課の事務のうち学生に対する就職指導に関する極めて高度又は特殊な専門的知識・経験を必要とする事務を直接処理するものとする。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

○平成7年お茶の水女子大学規則第 号

お茶の水女子大学事務組織細則の一部を改正する細則を次のとおり定める。

平成7年3月30日

お茶の水女子大学事務局長 堂 信 一

お茶の水女子大学事務組織細則の一部を改正する細則

お茶の水女子大学事務組織細則（平成3年7月26日事務局長決裁）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「文書係」を「企画法規係」に改める。

第2条第2項及び第3項を次のとおり改める。

- 2 庶務係においては、次の事務をつかさどる。

(1) 大学の事務に関し、総括し、及び連絡調整すること。



- (2) 機密に関する事。
  - (3) 儀式その他諸行事に関する事。
  - (4) 評議会その他の会議に関する事。
  - (5) 公印を管守する事。
  - (6) 公文書類を接受し、発送し、及び整理保存する事。
  - (7) 渉外及び広報に関する事。
  - (8) 学長等の秘書業務に関する事。
  - (9) 学報及び概要等の諸刊行物の編集及び発行に関する事。
  - (10) 指定統計等調査に関する事。
  - (11) 宿日直に関する事。
  - (12) 電話交換業務に関する事。
  - (13) 他の課の所掌に属しない事務及びこの課の所掌事務で他の係に属しないものを処理する事。
- 3 企画法規係においては、次の事務をつかさどる。
- (1) 大学運営の事務に関して、企画立案し、及び連絡調整する事。
  - (2) 学則その他諸規程等の制定及び改廃に関する事。
  - (3) 大学の組織及び機構に関する事。
  - (4) 大学の自己点検・評価に関する事。
  - (5) 規則集の編集及び発行に関する事。

附 則

この細則は、平成7年4月1日から施行する。

## ◆各種委員会委員◆

1. ( ) は事務担当課
2. \*印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のを掲載  
(編集集中の異動についても  
できる限り補正をした)

## 評議会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太田次郎	7. 2.16~9. 2.15
文 教 育 学 部 長	窪添慶文	6.10. 1~8. 9.30
理 学 部 長	小川洋輔	6. 4. 1~8. 3.31
生 活 科 学 部 長	小林彰夫	6.10. 1~8. 9.30
家 政 学 部 長	小林彰夫	6.10. 1~8. 3.31
大 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆夫	6. 4. 1~9. 3.31
附 属 函 書 館 長	大口勇次郎	6.11. 1~8.10.31
附 属 学 校 部 長	尾田幸雄	5. 4. 1~8. 3.31
文 教 育 学 部 教 授	辻 佐保子	5.10. 1~7. 9.30
文 教 育 学 部 教 授	田中真砂子	6.10. 1~7. 9.30
文 教 育 学 部 教 授	平野由紀子	6.10. 1~7. 9.30
理 学 部 教 授	清水 碩	5.10. 1~7. 9.30
理 学 部 教 授	渡辺ヒサ子	6. 4. 1~7. 9.30
理 学 部 教 授	小山敏子	5.10. 1~7. 9.30

生 活 科 学 部 教 授	小川昭二郎	7. 4. 1~8. 9.30
生 活 科 学 部 教 授	水野悌一	6.10. 1~8. 9.30
生 活 科 学 部 教 授	富田 守	6.10. 1~8. 9.30
家 政 学 部 教 授	小川昭二郎	7. 4. 1~8. 3.31
家 政 学 部 教 授	水野悌一	6.10. 1~8. 3.31
家 政 学 部 教 授	富田 守	6.10. 1~8. 3.31

(評議会規則第3条に定める者)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	板倉壽郎	
カ リ キ ュ ラ ム 委 員 長	内藤博夫	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清水 碩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	砂本宏一	

## 基本計画委員会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太田次郎	
文 教 育 学 部 長	窪添慶文	
理 学 部 長	小川洋輔	
生 活 科 学 部 長 家 政 学 部 長	小林彰夫	

大学院 人間文化 研究科長	森 隆 夫
附 属 図書館長	大 口 勇次郎
附 属 学校部長	尾 田 幸 雄
学 生 部 長	板 倉 壽 郎
事 務 局 長	砂 本 宏 一

## 自己点検・評価検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 教 授	山 本 秀 行	
理 学 部 教 授	富 田 功	
生 活 科 学 部 教 授	中 島 利 誠	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	上 野 浩 道	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清 水 碩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五 十 嵐 脩	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	

附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄
学 生 部 長	板 倉 壽 郎
事 務 局 長	砂 本 宏 一

## 国際交流委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	7. 4. 1~9. 3.31
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 助 教 授	本 郷 逕 子	
理 学 部 助 教 授	藤 枝 修 子	
生 活 科 学 部 講 師	柴 坂 寿 子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	藤 山 和 子	
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 文 科 学 研 究 科 助 教 授	平 田 悦 郎	7. 4. 1~9. 3.31
事 務 局 長	砂 本 宏 一	

## 将来構想検討委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	内 田 伸 子	6.10. 1~8. 9.30
文教育学部 助 教 授	栗 原 尚 子	
理 学 部 教 授	藤 原 正 彦	
理 学 部 助 教 授	今 野 美 智 子	
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
生活科学部 教 授	飯 永 喜 一 郎	
大学院人間 文科学研究科 教 授	石 川 宏	
女性文化 研究センター 教 授	館 かおる	
生活環境 研究センター 教 授	倉 田 忠 男	

## 発明委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	6.10. 1~8. 9.30
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
文 教 育 学 部 教 授	内 藤 俊 史	
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	
理 学 部 教 授	福 田 豊	
生 活 科 学 部 助 教 授	畑 江 敬 子	

生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	倉 田 忠 男	6.10. 1~8. 9.30
-------------------------------	---------	-----------------

## 組換え DNA 実験安全委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
研 究 者 理 学 部 教 授	* 清 水 碩	5.12.16 } 7.12.15
研 究 者 生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	大 橋 昌 子	
自 然 科 学 理 学 部 教 授	松 本 勲 武	
自 然 科 学 生 活 科 学 部 助 教 授	村 田 容 常	
人 文 科 学 文 教 育 学 部 教 授	尾 田 幸 雄	
社 会 科 学 生 活 科 学 部 講 師	山 本 政 人	
官 職 指 定	保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	永 川 祐 三
官 職 指 定	理 学 部 事 務 長	薄 葉 章
官 職 指 定	生 活 科 学 部 事 務 長	菊 池 昭 夫
安 全 主 任 者	理 学 部 教 授	能 村 堆 子

## 事務改善研究委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	* 砂 本 宏 一	
庶 務 課 長	井 上 重 巳	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	

学務課長	筋 忠 男
学生課長	三 野 博 正
入学主幹	木 村 弘 利
庶務課 課長補佐	海老原 葵
会計課 課長補佐	西 村 光 範
施設課 課長補佐	太田原 武
学務課 課長補佐	中 野 公 敏
文教育学部 事務長	細 井 隆 一
理学部 事務長	薄 葉 章
生活科学部 事務長	菊 池 昭 夫
附属図書館 事務長	高 橋 伸 夫

## レクリエーション運営委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
事務局長	* 砂 本 宏 一	
庶務課長	井 上 重 巳	
会計課長	辻 正 行	
施設課長	老 田 進	
学務課長	筋 忠 男	
学生課長	三 野 博 正	

入学主幹	木 村 弘 利
文教育学部 事務長	細 井 隆 一
理学部 事務長	薄 葉 章
生活科学部 事務長	菊 池 昭 夫
附属図書館 事務長	高 橋 伸 夫
庶務課課長補佐 附属学校部長 事務室長	海老原 葵
会計課 課長補佐	西 村 光 範
施設課 課長補佐	太田原 武
学務課 課長補佐	中 野 公 敏
研究協力 室長	古 賀 智

## 女性文化研究センター運営委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
女性文化 研究センター 長	* 清 水 碩	
文教育学部 部長	窪 添 慶 文	
理学部長	小 川 洋 輔	
生活科学部 部長 家政学部長	小 林 彰 夫	
大学院 人間文科 研究科長	森 隆 夫	
附属 図書館長	大 口 勇 次 郎	
女性文科 研究センター 教授	原 ひろ子	

女性文化 研究センター 助 教 授	館 かおる	
文教育学部 教 授	中 村 弓 子	6. 4.23~8. 3.31
理 学 部 教 授	小 山 敏 子	7. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 教 授	篠 塚 英 子	6. 4.23~8. 3.31
事務局 長	砂 本 宏 一	

**生活環境研究センター運営委員会 (庶務課)**

官 職	氏 名	任 期
生活環境 研究センター 長	*五十嵐 脩	
文教育学部 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生活科学部 部 長	小 林 彰 夫	
生活環境 研究センター 教 授	大 橋 昌 子	
生活環境 研究センター 教 授	倉 田 忠 男	
生活環境 研究センター 助 教 授	富 永 典 子	
文教育学部 教 授	田 宮 兵 衛	7. 4. 1~9. 3.31
理 学 部 教 授	石 和 貞 男	
生活科学部 教 授	小 川 昭 二 郎	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
事務局 長	砂 本 宏 一	

**予算委員会 (会計課)**

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生活科学部 部 長	小 林 彰 夫	
大学院人間 文化研究科 長	森 隆 夫	
文教育学部 教 授	佐 藤 保	7. 4. 1~9. 3.31
文教育学部 教 授	内 藤 博 夫	6.10. 1~8. 9.30
理 学 部 教 授	佐 藤 浩 史	7. 4. 1~9. 3.31
理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 教 授	水 野 悌 一	
生活科学部 教 授	荒 川 信 彦	7. 4. 1~9. 3.31
大学院人間 文化研究科 教 授	柴 田 文 明	7. 4. 1~9. 3.31
附 属 図 書 館 長	*大 口 勇 次 郎	
女性文化 研究センター 長	清 水 碩	
生活環境 研究センター 長	五十嵐 脩	
事務局 長	砂 本 宏 一	
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
会 計 課 長	辻 正 行	

## 防災委員会 (会計課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太田次郎	
文教育学部 部 長	窪添慶文	
理学部長	小川洋輔	
生活科学 部 長 家政学部 部 長	小林彰夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	永 川 祐 三	
事 務 局 長	砂 本 宏 一	
庶 務 課 長	井 上 重 巳	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	
学 務 課 長	筋 忠 男	
学 生 課 長	三 野 博 正	

## 購入物品機種選定委員会 (会計課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	杉 谷 隆	6. 4. 1~8. 3.31

文教育学部 教 授	内 藤 俊 史	6. 4. 1~8. 3.31
理 学 部 教 授	田 中 翠	
理 学 部 教 授	富 田 功	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ 教 授	倉 田 忠 男	
生活科学部 教 授	小 川 昭 二 郎	

## 施設計画委員会 (施設課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太田次郎	
文教育学部 部 長	窪添慶文	
理学部長	小川洋輔	
生活科学 部 長 家政学部 部 長	小林彰夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文教育学部 教 授	佐 藤 保	6.11. 1~7. 9.30
文教育学部 教 授	春 日 喬	5.10. 1~7. 9.30
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	6. 4. 1~8. 3.31
理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	7. 4. 1~9. 3.31
生活科学部 教 授	小 池 三 枝	7. 4. 1~8. 9.30
生活科学部 教 授	田 中 辰 明	6. 4. 1~8. 3.31
大学院人間 文 化 研 究 科 教 授	田 宮 兵 衛	7. 4. 1~9. 3.31

附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 研 究 長	清 水 碩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 研 究 長	五 十 嵐 脩	
事 務 局 長	砂 本 宏 一	
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
カ リ キ ュ ラ ム 委 員 会 長 委 員	内 藤 博 夫	

**館山施設計画委員会 (施設課)**

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 長	* 小 川 洋 輔	
文 教 育 学 部 助 教 授	本 田 郁 子	6. 4. 1~8. 3.31
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 山 進	5.10. 1~7. 9.30
理 学 部 教 授	清 水 碩	6. 4. 1~8. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	本 間 清 一	6.10. 1~8. 9.30
臨 海 実 験 所 助 教 授	根 本 心 一	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 中 学 校 教 頭	井 上 泰 治	
附 属 小 学 校 教 頭	星 野 征 男	
附 属 幼 稚 園 教 頭	梶 田 正 子	

学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
事 務 局 長	砂 本 宏 一	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	

**廃水管理委員会 (施設課)**

官 職	氏 名	任 期
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	* 五 十 嵐 脩	
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 谷 隆	
理 学 部 助 教 授	林 正 男	
理 学 部 教 授	浜 谷 望	
理 学 部 教 授	藤 枝 修 子	5.10. 1~7. 9.30
生 活 科 学 部 教 授	駒 城 素 子	
生 活 科 学 部 助 教 授	大 塚 惠	
附 属 高 等 学 校 教 諭	磯 貝 文 男	
附 属 中 学 校 教 諭	佐 々 木 和 枝	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	



## カリキュラム委員会 (学務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	*内 藤 博 夫	6. 4. 1~8. 3.31
文教育学部 助 教 授	大 塚 常 樹	7. 3.17~8. 3.31
文教育学部 助 教 授	内 田 正 子	7. 4. 1~9. 3.31
理 学 部 教 授	永 野 肇	6. 7. 1~8. 3.31
理 学 部 助 教 授	長 嶋 雲 兵	7. 4. 1~9. 3.31
理 学 部 講 師	松 浦 悦 子	7. 4. 1~9. 3.31
生活科学部 助 教 授	村 田 容 常	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 助 教 授	松 浦 秀 治	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 助 教 授	吉 村 佳 子	7. 4. 1~9. 3.31
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	

## 公開講座委員会 (学務課)

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 教 授	*石 和 貞 男	6. 1.20~7.11.30
文教育学部 助 教 授	小 風 秀 雅	6. 1.20~7.11.30
文教育学部 教 授	平 野 由 紀 子	6. 1.20~7.11.30
文教育学部 教 授	西 尾 道 子	6. 1.20~6.11.30
理 学 部 助 教 授	藤 枝 修 子	6. 1.20~6.11.30
理 学 部 助 教 授	吉 田 裕 亮	6. 1.20~7.11.30

生活科学部 教 授	駒 城 素 子	6. 1.20~7.11.30
生活科学部 助 教 授	會 川 義 寛	6. 1.20~6.11.30
生活科学部 助 教 授	吉 村 佳 子	6. 1.20~6.11.30
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	

## 学生委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	杉 山 進	7. 2.15~8. 3.31
文教育学部 助 教 授	新 井 由 紀 夫	7. 4. 1~10.3.31
文教育学部 講 師	松 崎 毅	6. 4. 1~9. 3.31
理 学 部 助 教 授	吉 田 裕 亮	7. 4. 1~10.3.31
理 学 部 助 教 授	*芦 原 坦	5. 4. 1~8. 3.31
理 学 部 助 教 授	森 川 雅 博	6. 4. 1~9. 3.31
生活科学部 助 教 授	鈴 木 恵 美 子	7. 4. 1~10.3.31
生活科学部 助 教 授	御 船 美 智 子	5. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 助 教 授	會 川 義 寛	6. 4. 1~9. 3.31
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	

## 共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	*杉 山 進	6. 6.16~8. 6.15

学生部長	板倉壽郎	
附属 学校部長	尾田幸雄	
会計課長	辻正行	
学生課長	三野博正	

**保健管理センター運営委員会 (学生課)**

官職	氏名	任期
保健管理 センター所長	*永川祐三	
文教育学部 助教授	杉山進	7. 4. 1~9. 3.31
文教育学部 助教授	本田郁子	6. 4. 1~8. 3.31
理学部 教授	清水碩	7. 4. 1~9. 3.31
理学部 助教授	前田ミチエ	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 教授	飯長喜一郎	7. 4. 1~9. 3.31
生活科学部 教授	水野悌一	6. 4. 1~8. 3.31
附属高等 学校教諭	増田かやの	6. 4. 1~8. 3.31
学生部長	板倉壽郎	
事務局長	砂本宏一	

**入学試験委員会 (入学主幹室)**

官職	氏名	任期
学長	*太田次郎	

学生部長	板倉壽郎	
文教育学部 部長	窪添慶文	
理学部長	小川洋輔	
生活科学部 家政学部長	小林彰夫	
文教育学部 助教授	杉谷隆	6. 4. 1~8. 3.31
文教育学部 助教授	駒込武	7. 4. 1~9. 3.31
理学部 教授	太田隆夫	6. 4. 1~8. 3.31
理学部 教授	福田豊	7. 4. 1~9. 3.31
生活科学部 助教授	牧野カツコ	6. 4. 1~8. 3.31
理学部 助教授	畑江敬子	7. 4. 1~9. 3.31
事務局長	砂本宏一	
保健管理 センター所長	永川祐三	
情報処理 センター長	細矢治夫	

**入学者選抜方法研究委員会 (入学主幹室)**

官職	氏名	任期
文教育学部 助教授	永原惠三	6. 4. 1~8. 3.31
文教育学部 助教授	熊谷圭知	7. 4. 1~9. 3.31
理学部 教授	*太田隆夫	6. 4. 1~8. 3.31
理学部 教授	福田豊	7. 4. 1~9. 3.31

生活科学部 助 教 授	杉 田 孝 夫	6. 4. 1~8. 3.31
生活科学部 助 教 授	仲 西 正	7. 4. 1~9. 3.31
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
カリキュラム 委 員 会 長	内 藤 博 夫	

**学芸員課程委員会 (文教育学部事務部)**

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	田 中 真 砂 子	6.10. 1~8. 9.30
文教育学部 教 授	小 川 剛	
文教育学部 助 教 授	* 鷹 野 光 行	
文教育学部 助 教 授	秋 山 光 文	
文教育学部 助 教 授	安 田 次 郎	
文教育学部 助 教 授	熊 谷 圭 知	
文教育学部 教 授	鈴 木 泰	
理 学 部 教 授	山 下 貴 司	
生活科学部 助 教 授	徳 井 淑 子	

**理学部附属臨海実験所運営委員会 (理学部事務部)**

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 長	* 小 川 洋 輔	6.10. 1~8. 9.30
理学部附属 臨海実験 所 長	根 本 心 一	

理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	6. 4. 1~8. 3.31
理 学 部 教 授	松 本 勲 武	
理 学 部 教 授	山 下 貴 司	
理 学 部 教 授	渡 辺 洋 子	
文教育学部 教 授	千 歳 壽 一	
文教育学部 助 教 授	栗 原 尚 子	
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	大 橋 昌 子	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	

**理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会**

(理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 長	* 小 川 洋 輔	6. 4. 1~8. 3.31
RI実験室長	芦 原 坦	
放 射 線 取 扱 主 任 者	古 田 悦 子	
文教育学部 助 教 授	杉 谷 隆	
理 学 部 教 授	田 中 翠	6.10. 1~8. 9.30
理 学 部 教 授	清 水 碩	

理学部 教授	松本勲武	6.10.1~8.9.30
生活科学部 助教授	大塚 惠	5.10.1~7.9.30
生活環境 研究センター 助教授	富永典子	

**理学部極低温実験室運営委員会 (理学部事務部)**

官職	氏名	任期
理学部長	*小川洋輔	6.4.1~8.3.31
極低温実験 室長	田中 翠	
理学部 教授	浜谷 望	
理学部 教授	永野 肇	
理学部 助教授	芦原 坦	
生活科学部 助教授	畑江敬子	

**情報処理センター運営委員会 (理学部事務部)**

官職	氏名	任期
情報処理 センター長	*細矢治夫	6.10.1~8.9.30
情報処理センター 主任 理学部助教授	吉田裕亮	
文教育学部 教授	千歳壽一	
文教育学部 教授	内藤俊史	
理学部 教授	山下貴司	
理学部 教授	平野恒夫	

生活科学部 助教授	村田容常	6.10.1~8.9.30
生活科学部 助教授	田辺新一	
大学院人間 文化研究科 教授	真島秀行	
女性文化 研究センター 助教授	館 かおる	
生活環境 研究センター 助教授	富永典子	
附 属 図書館長	大口勇次郎	
学生部長	板倉壽郎	
カリキュラム 委員会 委員長	内藤博夫	

**附属図書館運営委員会 (附属図書館事務部)**

官職	氏名	任期
附 属 図書館長	*大口勇次郎	
文教育学部 助教授	岩崎千鶴	6.4.1~8.3.31
文教育学部 助教授	内田正子	6.10.1~8.9.30
理学部 助教授	亀井 理	6.4.1~8.3.31
理学部 助教授	今野美智子	
生活科学部 教授	利谷信義	
生活科学部 助教授	杉田孝夫	7.4.1~9.3.31
大学院人間 文化研究科 教授	篠塚英子	7.6.1~9.5.31
女性文化 研究センター 教授	原 ひろこ	6.4.1~8.3.31

生活環境 研究センター 教授	大橋昌子	6.4.1~8.3.31
カリキュラム 委員会 委員長	内藤博夫	

附属学校委員会 (庶務課)

官職	氏名	任 期
附属 学校部長	*尾田幸雄	
文教育学部 教授	三木紀人	7.4.1~9.3.31
理学部 教授	小山敏子	6.4.1~8.3.31
生活科学部 教授	湯沢雅彦	6.10.1~8.9.30
事務局長	砂本宏一	
附属 小学校長	森下はるみ	
附属 中学校長	小池三枝	
附属 高等学校長	渡辺ヒサ子	
附属 幼稚園長	島田淳子	
附属 小学校教頭	星野征男	
附属 中学校教頭	井上泰次	
附属高等 学校教頭	早崎捷治	
附属 幼稚園教頭	梶田正子	

附属学校教育研究委員会 (庶務課)

官職	氏名	任 期
附属 学校部長	*尾田幸雄	
文教育学部 教授	酒本雅之	6.4.1~8.3.31
理学部 教授	柴田文明	6.4.1~8.3.31
生活科学部 教授	杉田孝夫	6.4.1~8.3.31
文教育学部 教育学科教授	上野浩道	7.4.1~9.3.31
生活科学部 人間生活学科 教授	飯長喜一郎	7.4.1~8.3.31
附属 小学校長	森下はるみ	
附属 中学校長	小池三枝	
附属 高等学校長	渡辺ヒサ子	
附属 幼稚園長	島田淳子	
附属 小学校教頭	星野征男	
附属 中学校教頭	井上泰次	
附属高等 学校教頭	早崎捷治	
附属 幼稚園教頭	梶田正子	
附属 小学校教諭	中村克己	6.4.1~8.3.31
	浅川陽子	7.4.1~9.3.31

附 属 中学校教諭	田 中 美也子	6. 4. 1~8. 3.31
	福 田 正 恒	7. 4. 1~9. 3.31
附 属 高 等 高等学校教諭	菊 池 美千世	6. 4. 1~8. 3.31
	冲 山 義 光	7. 4. 1~9. 3.31
附 属 幼稚園教諭	伊集院 理 子	6. 4. 1~8. 3.31
	田 中 三保子	7. 4. 1~9. 3.31

大学院問題検討特別委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 評 議 員	平 野 由 紀 子	
理 学 部 評 議 員	清 水 碩	
生 活 科 学 部 評 議 員	富 田 守	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	佐 藤 保	
事 務 局 長	砂 本 宏 一	

創立120周年記念事業特別委員会 (庶務課)

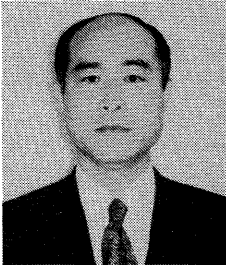
官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 教 授	德 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 教 授	平 野 由 紀 子	
理 学 部 教 授	伊 藤 厚 子	
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	
生 活 科 学 部 教 授	中 島 利 誠	
生 活 科 学 部 教 授	島 田 淳 子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	上 野 浩 道	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	田 中 真 砂 子	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	板 倉 壽 郎	
事 務 局 長	砂 本 宏 一	

## ○ 学科主任

学 部	学 科 等	職 名	氏 名
文 教 育 学 部	哲 学 科	教 授	高 島 元 洋
	史 学 科	"	山 本 秀 行
	地 理 学 科	"	田 宮 兵 衛
	国 文 学 科	"	市 古 夏 生
	外 国 文 学 科		
	中国文学・中国語学	"	相 原 茂
	英 文 学 ・ 英 語 学	"	宮 川 幸 久
	独 文 学 ・ 独 語 学	"	石 丸 昭 二
	仏 文 学 ・ 仏 語 学	"	中 村 弓 子
	教 育 学 科		
	教 育 学	"	田 中 真 砂 子
	心 理 学	"	内 藤 俊 史
	舞 踊 教 育 学 科		
	舞 踊 教 育 学	"	石 黒 節 子
音 楽 教 育 学	"	遠 藤 秀 一 郎	
理 学 部	数 学 科	"	塚 田 和 美
	物 理 学 科	"	浜 谷 望
	化 学 科	"	永 野 肇
	生 物 学 科	"	石 和 貞 男
	情 報 科 学 科	"	竹 尾 富 貴 子
家 政 学 部	児 童 学 科	"	水 野 悌 一
	食 物 学 科	"	本 間 清 一
	被 服 学 科	"	駒 城 素 子
	家 庭 経 営 学 科	"	袖 井 孝 子
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	"	本 間 清 一
	人 間 生 活 学 科	"	水 野 悌 一

## 新任部局長紹介

### 事務局長



氏名 砂本 宏一  
 生年月日 昭和13年3月20日  
 出身地 福岡県

#### [経歴]

昭和37年6月 九州工業大学庶務課  
 昭和38年5月 初中局特殊教育課  
 昭和43年4月 総理府沖縄連絡事務所文教係長  
 昭和45年4月 官房総務課沖縄復帰対策主任  
 昭和47年4月 官房人事課給与班給与第1係長  
 昭和50年4月 官房人事課総務班庶務係長  
 昭和52年4月 新潟大学人事課長  
 昭和54年10月 北海道大学人事課長  
 昭和57年4月 科学博物館庶務課長  
 昭和59年4月 初中局小学校課補佐  
 昭和61年4月 官房総務課庶務班主査  
 昭和63年4月 東京農工大学庶務部長  
 平成2年4月 東京工業大学事務局付  
 平成2年6月 同 北陸先端大学創設準備室総主幹  
 平成2年10月 北陸先端大学事務局長  
 平成5年4月 鹿児島大学事務局長  
 平成7年4月 お茶の水女子大学事務局長

#### [モットー]

誠実

#### [趣味]

ゴルフ

#### [就任の言葉]

本学の教育や教育研究体制の改革は、本学が良き伝統のうえに立ち、本学ならではの新しい大学への更なる発展に向けて進捗していると認識

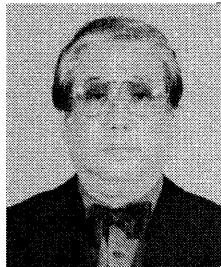
しています。

学長のもと、教職員が心を一つにしてその進展にご尽力いただけるよう、部局長方と連絡を密にし、大学運営や教育研究環境の整備、充実に努めたいと思います。

よろしくお願い致します。

### 学生部長

(任期 平成7年4月1日～平成9年3月31日)



氏名 板倉 壽郎  
 生年月日 昭和11年5月22日  
 出身地 愛知県  
 専攻 美学

#### [略歴]

昭和35年3月 同志社大学文学部卒業  
 昭和39年3月 同 大学院文学研究科哲学専攻修士課程修了  
 昭和39年4月 成安女子短期大学講師  
 昭和44年4月 成安女子短期大学助教授  
 昭和45年4月 お茶の水女子大学家政学部助教授  
 昭和59年6月 同 教授  
 平成4年10月 同 生活科学部教授

#### [モットー]

体系の無い学問は真の学問ではない。

#### [趣味]

油絵、写真、フライフィッシング

#### [就任の言葉]

学生部にはカリキュラム関係の問題や入試に関する問題等色々解決していかなければならぬ事が多いのですが、自己の能力を超えた目標を持たず、全てを自然体で処理していきたいと考えています。ご協力をお願いします。



# 学 事

## ○学位授与

(課程修了によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 目
甲第37号	博士 (人文科学)	平成7年3月23日	申 銀 珠	大韓民国	韓国文学の中の日本近代文学 —1920年代の詩と詩人たち—
甲第38号	博士 (人文科学)	平成7年3月23日	村 田 夏 子	三 重 県	読解過程におけるテキストの表現 形式の役割 —読みの認知的熟達化と 情報処理過程—
甲第39号	博士 (人文科学)	平成7年3月23日	倉 持 清 美	東 京 都	小集団を視座とした幼児の仲間関 係
甲第40号	博士 (人文科学)	平成7年3月23日	王 順	中 華 人 民 共 和 国	中国におけるデューイ教育学の受 容に関する研究 —デューイの訪中を 手がかりに—
甲第41号	博士 (理 学)	平成7年3月23日	木 村 久美子	神奈川県	Hadron Multiplicity and Angular Distribution in the Perturbative QCD (摂動論的QCDにおけるハドロ ンの粒子多重度と角度分布)
甲第42号	博士 (理 学)	平成7年3月23日	下 尾 由 美	東 京 都	Application of Stochastic Path Integral Method to the Problems of Low Field Spin Relaxation (確率的経路積分法の低磁場スピ ン緩和の問題への適用)
甲第43号	博士 (学 術)	平成7年3月23日	清 瀬 千佳子	埼 玉 県	ビタミンE立体異性体の生体内動 態とその識別

(論文提出によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 目
乙第41号	博士 (学 術)	平成7年3月28日	市 川 朝 子	山 形 県	天然高分子イオン複合体の吸水特 性

### ○卒業式及び学位記授与式について

第43回卒業式及び第31回学位記（修士）授与式、第12回学位記（博士）授与式が3月23日(木)大学講堂で举行された。

卒業者数及び修了者数

・ 卒業者数	( 5 5 0 名)
文教育学部	2 4 4 名
理 学 部	1 4 8 名
家 政 学 部	1 5 8 名
・ 修了者数	( 1 7 0 名)
修士課程 人文科学研究科	8 0 名
理 学 研 究 科	5 1 名
家 政 学 研 究 科	3 9 名
博士課程 人間文化研究科	7 名

### ○入学式について

平成7年度入学式が4月10日(月)大学講堂で举行された。

入学者数

・ 学 部	( 5 7 8 名)
文教育学部	2 6 9 名
理 学 部	1 4 8 名
生活科学部	1 6 1 名
・ 大 学 院	( 2 1 9 名)
人文科学研究科	8 6 名
理 学 研 究 科	7 8 名
家 政 学 研 究 科	5 5 名
人間文化研究科	8 2 名

### ○大学間協定について

- ・ 本学と総合研究大学院大学との間における学生交流に関する協定について

本学大学院理学研究科及び人間文化研究科と総合研究大学院大学との間において学生交流に関する協定が締結され、覚書が取り交わされ、平成7年4月より学生交流が実施されることとなった。

- ・ 本学と東京大学との間における学生交流に関する協定について

本学大学院理学研究科及び人間文化研究科と東京大学大学院理学系研究科との間において学生交流に関する覚書が取り交わされ、平成7年4月より学生交流が実施されることとなった。

# 卒業者氏名

## 文教育学部 (244名)

### 哲学科

子美紀子子子	尾伍畑藤宮増	子子子明紀紀	崎石谷田本田	明紋由千友有
麻里由佐和晶				
中林本井野満				
越小橋藤水米				
子代子生記子				
美麻富曉真雅				
田元越川下原				
上木鳥廣松吉				

### 史学科

子子子穗子	石加篠中丸菊	佳厚悦真瑞朋	村藤田山川池	井山小高平海
枝子子子子				
和啓孝裕左葉				
柊田林野松野				
代子美子子記				
正久水流美子				
田口島谷岡				
池江熊関泥吉				

### 地理学科

子子子子子	岡西野野平田	純朋裕明隆智	崎戸岡村山中	和美美恵子菽
睦真光桂				
崎野野井田				
岡茂高西原刈				
子の子子恵キ				
直ゆき智直幸ユ				
條藤田安嶺				
一佐千中濱与那				

### 国文学科

子美美恵子美忍子	今小柴田中廣三吉	啓朋有文泉里恭	城野野中村瀬島川	田海松沢鳴田本下内
実子生美里子恵子				
枝紀史智香恵久麗				
池内小滝中日藤山竹				
子麻子子子紀美子				
良重里紀敦郁真寿陽				
井原玉村嶋沢原藤				
荒上兒杉中原深宮齋				

### 外国文学科 (中国文学・中国語学)

子幾子	杉伏	安陽	村見	林園
さつき里				
小堂				
美紀子絵美				
野房邊				
小當渡				

### 外国文学科 (英文学・英語学)

子か幸子子美穂子美	石岡北才獅田名本望	智さ美典史由菜典恵	崎木堀中和田月	江子合み子美希子子
伸紀小い法友由友真理子				
樽館茂藤津窪田川崎田				
石大加權財田成細宮袴				
保子子徑穂子子子美恵				
美路裕美優知美由実紀				
狩藤藤松野良村本部村				
猪遠加小佐世田浜水吉				

子子喜	明恵真	里美子紀子実子子佳里	香由仁光美香友由郁愛有	部瀬田村木根橋田浦田	阿岩片木佐關棚野三安
-----	-----	------------	-------------	------------	------------

外国文学科 (仏文学・仏語学)

井黒森	上木	真由美	由奈子	美紀子	大小山	曲藤崎	貴綾純	子子子	小丹内	川内海	香敦暁	織子子	笠林	原	広さや	子か
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	---	-----	----

教育学科 (教育学)

井工濫	田藤川	貴牧明	日香子	子香水	岩後十	井藤鳥	陽美有	子緒美	奥佐陣	留伯野	利綾厚	枝子子	恩篠谷	田原山	絹美邦	子佳子
寺藤山	崎井下	里尚		子薰	野三吉	原品田	るり子	子美	橋宮渡	口田邊	佳代貴	子子子	長八	川幡	伸喜美	江子

教育学科 (心理学)

井神新	伊澤久	智美	子香綾	子恵美	石鬼鈴	崎頭木	里真佳	江澄苗	伊木常	東村盤	央裕美	江美子	金島中	子田柴	めぐみ	規乃か
長宮	田田	瑞明	恵美	美	橋武末	本藤澤	貴美京	子紀子	橋村川	本井村	祐雪令	香恵子	火ノ	口	春ゆり	麗

舞踊教育学科 (舞踊教育学)

相加田	澤藤中	綾千直	子穗美	子美子	荒志田	木田村	佳早有	代織菜	石杉中	川本島	玲亮晶	果子子	小住藤	川野井	有晶裕	子子子
牧	田	佳			松	川	道	子	高	成	麻畝	子	竹	村	志	麻

舞踊教育学科 (音楽教育学)

猪野谷	飼原川	みどり	子穗美	子由紀	川林山	島口	佳美	子咲綾	川福山	副田	伊千有	子絵子	河安渡	野田邊	純亮恭	果子子
岩	田	千代	巳						山	田	紀子		渡	邊	恭	子

理学部 (148名)

数学科

赤大小	石屋田	睦純一	子子織	子美子	朝比奈	大影木	葉寿美	子代央	石岡笠	橋村松	姿彩理	子世衣	榎奥河	本村村	律幸さ	子枝さ
川坂富	村根井	友愛呀	子子子	子子子	山下石	白樋町	昌菜津	子愛子	串杉平	田本澤	典真貴	子美	小杉蛭	林本	由真悦	佳理子

物理学科

青木齋	木原藤	真由美	子子子	子和美	白興佐	井村藤	和有恭	子紀子	内清末	田瀬正	美乃江	里子子	隠古鈴	塚池木	式光百	子江野
鈴井藤	木手原	純陽美	子子子	和美	田西藤	淵村原	保知め	子美子	土二山	居瓶本	美江伸	子子子	永藤善	作田里	ま優彩	み子子

化学科

天内金	野田澤	麻裕美	子子子	子穂子	井榎藏	口本方	真由美	子子子	石大黒	塚申越	玲有祥	子美子	岩片酒	本岡井	昌麻京	子子子
佐轟古	久屋野	方美敦	子子子	子子子	島西宮	田浦坂	純由佳	子絵子	田濱村	中井上	美仁未	和美奈	富深村	山本瀬	真明明	子子子

生物学科

代子江子子琴恵  
佳素伸令慶真  
平部橋田井井下  
猪神高野松三山  
泉加清梨増丸武  
納水山田谷藤  
寛洋久仁信美智  
子子代美子子子  
子子子奈香恵  
子子子美恵子  
紀果紀玲子稚子  
由利真智早千祐  
泉上本 下朝田  
大坂寺原松三吉

情報科学科

惠子子子理子里子子美  
美幸雅祐由世津光桂郁尚  
岡藤澤釜堀水島田野口  
飯伊岡上北清長米矢寄  
穂生子子子美子佳子子子  
美弥奈淑妙里智美紀久京  
井谷貫本村柿 口崎澤口  
新泉大沖川志堤樋宮吉水  
子枝合子子穂子泉子子子  
弥百合子子子子子子  
真利小奈雅千浩 秋恵ま  
部井島川上山内 川本海  
安石大小川小竹林皆山嶋

家政学部 (158名)

児童学 科

市請長楠高田林前村山永  
村盛内井橋村 原田本野  
聖裕悦理真真康佐理え実  
子子子恵紀弓子子子奈幸  
子子子惠紀弓子子子奈幸  
出西島賀下田口原下野場  
井大小古竹寺樋前森吉的  
麻理由松里香牧志こ有厚  
里子希香香由子保え希子  
子子子希香香由子保え希子

食物学 科

井岡甲北小田中松渡  
上本 澤西中川本邊  
子み美子子子紀紀恵  
みやご美子子子紀紀恵  
やな知浩恵知亜友文  
上本 澤西中川本邊  
乃子子ぶ子子り美り  
志雅恭しあ真み裕さ  
村崎地瀬西中居山内  
稻岡開川小竹島平横

被服学 科

岩金久篠丹西前矢米  
元岡保塚後村村野山  
文子好子子美華紀子  
宏弥由喜知静瑞直  
子子子乃美美り保史子子  
希乃美美り保史子子  
友千優琴か美 朋真理  
谷岡田島成沢田部本  
伊片清鮫為西福谷山  
る希子子子香き織未  
ゆ仁穂子子子子子  
も美久真順静ゆ佳麻  
木村村藤木坂野田本  
青岡河佐鈴長鉢牟山

家庭経営学科

芦内岸小鈴谷野本望姜村	澤野林木口間月野	寿典有朋理和美奈千涼	子子紀野繪子香子枝政子	池田北澤関内則松山池岩	田江村柳塚藤竹下田田崎	留綾友理麻慈詳真理子紀子麻由子	美子弥恵矢美子子子紀子	石川草島袖中平水渡山	川上間津山黒田元邊本	朋美み裕明恵美みど有	子樹り子美美香京り子	魚川桑菅高西弘村和脇	住嶋畑原原澤田山田谷	明美朋由瑞恭貴佳美紀	代紀子紀代美子世保子
-------------	----------	------------	-------------	-------------	-------------	-----------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

修了者氏名

大学院修士課程

人文科学研究科 (80名)

哲学専攻

天中	野島	千雅	恵子	佐松	藤本	典知	子子	島平	田岡	祥洋	子子	友松	由佳
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

史学専攻

石山	悦瑞	子暎	上郭	原由海	子燕	中正	由紀	若林	美佐知
----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----

地理学専攻

森川	理夏子	森本	泉	鳥蘭	都欣
----	-----	----	---	----	----

日本文学専攻

伊野	藤島	千直	恵美	岡田	美也子	尾高	直子	谷口	幸代	李	幸へ	り
----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	---	----	---

中国文学専攻

圓山	聡子	安藤	好恵	渡邊	真理子	今井	佳子
----	----	----	----	----	-----	----	----

英文学専攻

長峯	京子	田沢	恭子	藤原	千明
----	----	----	----	----	----

教育学専攻

岩村	美智恵	子琳	津太	海藏寺	淑子	桑田	直子	関百合子
辻朴	智子	容琳	太	長鳴	亜紀子	長友	直美	スリステイアシー
森	容琳	津太		富士原	紀絵	池内	美桂	江尻
	津太			薬師神	玲子	山上	真貴子	渡邊

舞踊教育学専攻

亀山	愛咲	子蘭	保	波照間	永直	子美	子子	邊前	田田	仁の	敬ぶ	佐野	信子	子子
尹長	美美	和保		大藏	佳子	子子		前前	田島	しの	郁津	梅村	郁京	子子
米倉	美美			朝枝	倫子			鮫		奈津		新井	泰	子子

日本語文化専攻

新西田山	井條中崎	眞美久真弓	美紀子美弓	今櫻友山	井岡下	寿由純みゆき	枝美子	大柴福	塚原岡	純智昌	子代子	桑島藤江	原田井原	京徳桂有輝	子子子子子
------	------	-------	-------	------	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-------	-------

### 理学研究科 (51名)

#### 数学専攻

三浦 瑞江 森本 由紀子

#### 物理学専攻

浅野 由紀子 飯塚 敬子 井上 上月 千鶴  
岡部 直子 村 亜紀子 香月 深雪  
黒川 知美 藤 智美 里岡 純子  
早瀬 友美乃 藤原 あい子 安福 満里

#### 化学専攻

伊藤 藤 恭子 内海 秀子 大森 有里子  
鹿島 澤 季子 佐藤 あやの 杉浦 郁子  
長澤 朋子 土方 亜子 日向 祥子  
森田 淳子 守 明子 森山 和歌子

#### 生物学専攻

石井 淳子 石川 奈可子 石原 安也子  
太田 井 哲紀子 田戸 和美穂 木下 玲子  
坂鈴 井 登紀子 高橋 美智子 澤崎 礼美  
山口 薫子 子

### 家政学研究科 (39名)

#### 児童学専攻

今獅々 実恵子 小糠 敦子 竹之内 志津香  
吳 宣 兒 林 明 珊 方 仁 成 保野 崎田 路陽 子

#### 食物学専攻

相坂 直子 粟津原 元子 入江 純子  
小栗 敦子 香川 実恵子 春日 美江  
鈴木 美恵子 田村 由紀子 鶴谷 美枝  
西川 陽子 林 水紀 松澤 美慧  
王 冬梅 郭 恩 廷 江 慧 沈 心

#### 被服学専攻

今村 寿子 川北 恵子 植田 雅子 喜多村 薫

#### 家庭経営学専攻

入江 文子 掛川 恭子 佐藤 美津留 服部 朋子  
鶴沢 由美子 柚木 理子

### 大学院博士課程

#### 人間文化研究科 (7名)

##### 比較文化学専攻

申 銀珠

##### 人間発達学専攻

村田 夏子 倉持 清美 王 頌

##### 人間環境学専攻

木村 久美子 下尾 由美 清瀬 千佳子

## 諸 報

### ○永年勤続者表彰について

平成6年度退職時の永年勤続者表彰式及び文部省永年勤続者表彰伝達式が平成7年3月31日大学会議室に於いて行われ被表彰者に、表彰状並びに記念品が授与されました。

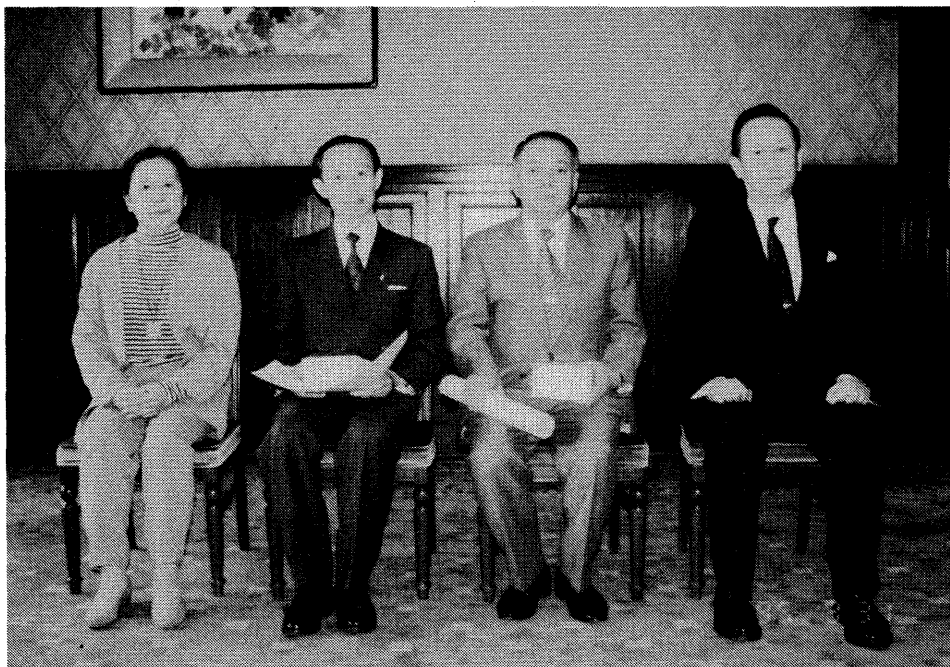
被表彰者は次のとおりです。

お茶の水女子大学表彰

附属小学校 古市 憲一

文部省表彰

事務局 堂 信一



### ○平成7年春の叙勲について

平成7年4月29日の春の叙勲で本学名誉教授伊関兼四郎氏が勲三等旭日中綬章を、同じく石黒英一氏が勲二等瑞宝章を受章されました。



## ○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
生活科学部 ・教授	利谷信義	連合王国 ドイツ連邦共和国	日本学術会議二国間学術交流のため	7. 3. 9～ 7. 3. 18	外国出張
文教育学部 ・助教授	古田啓	中華人民共和国	北京日本学術研究センターにて日本語学の講義	7. 3. 17～ 7. 7. 14 (帰国予定)	外国出張
附属高等学校 ・教諭	谷田部玲生	アメリカ合衆国	東京学芸大学日米相互理解教育プロジェクト米国研究調査	7. 3. 21～ 7. 4. 1	外国出張
理学部 ・教授	太田隆夫	アメリカ合衆国	アメリカ化学会「高分子のレオロジーにおける界面と表面」シンポジウム出席・講演他	7. 4. 1～ 7. 4. 8	外国出張
文教育学部 ・教授	徳丸吉彦	ベトナム社会主義共和国	ベトナム雅楽の総合的研究調査	7. 4. 13～ 7. 4. 27	外国出張
生活科学部 ・教授	中島利誠	大韓民国	韓国衣類学会年次大会での特別講演ならびに梨花女子大学、延世大学における被服学に関する特別講演	7. 4. 14～ 7. 4. 19	外国出張
生活科学部 ・教授	田辺新一	アメリカ合衆国	タスク・アンビエント空調ワークショップにおける講演及び関連施設見学	7. 4. 28～ 7. 5. 8 (帰国予定)	外国出張
文教育学部 ・教授	内田伸子	アメリカ合衆国	発達心理学会での研究発表及びノースウェスタン大学で共同研究の打合せと資料収集	7. 3. 24～ 7. 4. 7	海外研修
文教育学部 ・教授	藤山和子	中華人民共和国	中医文献及医古文学術検討会出席のため	7. 4. 20～ 7. 4. 27	海外研修
文教育学部 ・助教授	坂本佳鶴恵	オーストラリア	国際社会学会分科会にて発表	7. 4. 22～ 7. 5. 3 (帰国予定)	海外研修
理学部 ・助教授	小木曾啓示	シンガポール共和国	カラビーヤウ多様体のファイバー空間構造の共同研究	7. 4. 26～ 7. 5. 14 (帰国予定)	海外研修

## ○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参 加 者 数	内 容 ・ 入 賞 者	実 施 場 所
職 員 卓 球 大 会	平成7年 3月3日	28人	優 勝 Cチーム 高田洋一、田口裕子、和田東子 村石昌昭、斉藤太一、上島正彦 準優勝 Aチーム 高橋伸夫、沢柳友子、村田容常 村山正栄、益子亜希子 第3位 Bチーム 三浦良子、石井朋子、菊池慶文 鈴木孝、太田千恵子	大学体育館
職 員 ボーリング大会	平成7年 3月13日	45人	優 勝 ヒロミチャンチーム 菊池政樹、西原敏雄、松浦弘美 準優勝 つかれたチーム 山本直之、丸山彰英、園部真理 第3位 ナリタブライアンチーム 村上恭二、菊池慶文、林あずみ	池袋ブランズウィック

## ○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	参 加 者 数	実 施 場 所
V D T 検 診	平成7年 3月13日	VDT作業従事職員	44人	保健管理センター

# 日 誌

## ◇諸会議

- 3月1日(水) 附属学校教育研究委員会  
 3日(金) 事務連絡会議  
 7日(火) 部局長会議、国際交流基金理事会、  
 主任会議(3学部)  
 8日(水) 教授会(3学部)  
 9日(木) 学生委員会  
 13日(月) 研究科会議  
 16日(木) 附属学校委員会  
 18日(土) 主任会議(生活)  
 20日(月) 教授会(生活)  
 27日(月) 拡大主任会議(文教)  
 28日(火) 部局長会議  
 29日(水) 評議会  
 4月5日(水) 主任会議(理学)  
 7日(金) 事務連絡会議  
 11日(火) 附属学校委員会  
 17日(月) カリキュラム委員会  
 18日(火) 主任会議(3学部)  
 19日(水) 教授会、臨時主任会議(生活)  
 20日(木) 関プロ国立学校等会計部課長会議  
 21日(金) 国立大学図書館協議会東京地区協  
 議会総会  
 24日(月) 学生委員会  
 25日(火) 部局長会議  
 26日(水) 評議会、附属学校教育研究委員会、  
 研究科会議

## ◇行事等

- 3月9日(木) 学部合格発表(A・前期)人間文  
 化研究科入試(~11日)  
 13日(月) 学部合格者(A・前期)大学院修  
 士課程合格者入学手続(~14日)  
 15日(水) 人間文化研究科合格者発表、附属  
 小学校卒業式  
 16日(木) 附属幼稚園卒業式  
 17日(金) 附属中学校卒業式  
 20日(月) 附属高等学校卒業式  
 22日(水) 生活科学部合格発表(後期)  
 23日(木) 卒業式、学位記授与式  
 24日(金) 学部合格者(A・後期)大学院修  
 士・博士課程合格者入学手続(27  
 日)  
 30日(木) 追加合格者入学手続(学部生)  
 31日(金) 永年勤続者表彰式、離任式  
 4月3日(月) 就任式  
 5日(水) 就任式  
 7日(金) 附属高・中・小入学式  
 10日(月) 大学・大学院入学式  
 11日(火) 新入生オリエンテーション(~14  
 日於・大学セミナーハウス)  
 17日(月) 附属幼稚園入園式、平成8年度概  
 算要求事務局ヒアリング(~19日)  
 19日(水) 就職ガイダンス、外国人留学生オ  
 リエンテーション